



環境経営レポート

活動期間 第65期 (2025年4月1日~2026年3月31日)



発行日 2026年 5月 19日

刷 数 第 12 版



竹田サンテックグループ

竹田サンテック(株)・共立サンテック(株)



当社は樹脂成形金型を専門とするメーカーです。

設計から製造までを一貫して自社グループで行い
細部まで妥協しません。

その強みを活かし、現場での気づきや改善を積み重ねることで
経営課題である“加工不良の削減”を重点目標におきました。
一歩ずつ改善に向けて取り組む活動内容をレポートに記します。
竹田グループ全社員とより多くの関係者の方々にひと目で内容
が伝わるレポートを目指しています。

ご理解・ご協力
ありがとう
ございます(人^人)/

 目次

組織の概要 と 事業内容	P 2
認証・登録対象組織 と 環境経営方針	P 3
実施体制 と 生産活動での投入量と排出量	P 4
環境経営目標	P 5
今期活動実績 目標比と実績評価	P 6
環境計画の取組と評価、次年度の取組	P 7
課題の改善 加工不良の削減	P10
環境関連法規等の遵守状況	P11
代表者による全体の評価と見直し	P11



組織の概要



竹田サンテックグループ

会社名 竹田サンテック株式会社
共立サンテック株式会社

代表取締役 社長 竹田哲也

資本金 1,530万円
1,000万円

所在地 静岡県静岡市駿河区国吉田1丁目10番53号

連絡先 電話 054-267-7551

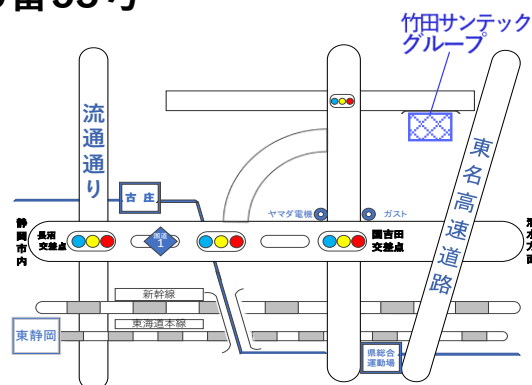
FAX 054-267-7532

◇環境管理責任者 佐々木基宣

◇連絡先担当者 永山友佳子



kyoritsu@kr-suntec.jp



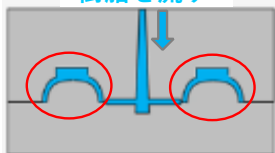
事業内容

自動車照明器具の金型を一貫製作します!!



自動車照明器具の
製品を作成できる
金型を製造します!

樹脂を流す



製品 (右・左セット)
金型 (グレー部分)

竹田サンテック(株)

金型設計

- 設計図作成
(CAD、CAM)
- 3Dモデル

最新の CAD/CAM
システムを駆使し
金型の凹凸構造を
デザインします。



機械加工

- 穴開け加工
- 切削加工
(金属、電極材)

金型の元となる鋼
材を少しずつ削り
設計どおりの凹凸
形状に近づけます。



共立サンテック(株)

仕上加工

- 放電加工
- 旋盤・磨き
- 組立・納品

金型の細部を加工
し滑らかな表面に
仕立て上げ取引先
へお届けします。



認証・登録対象組織

全組織 竹田サンテックグループ
竹田サンテック(株)/ 共立サンテック(株)

全活動 樹脂成形金型の設計/製作/仕上げ加工

	竹 田	共 立
売上高	910百万円	377百万円
※従業員数	42名	32名
延床面積	1,658m ²	1,126m ²
敷地面積	2,166m ²	1,850m ²

※役員を含む

環境経営方針

制定日 2013年10月4日 改訂日 2022年11月25日
竹田サンテックグループ 代表取締役 竹田哲也

会社方針（ものづくりに挑戦）

フレッシュな加工技術をものにし
短納期の対応/品質向上/コスト削減
に努めます

基本方針

環境問題への積極的取組

事業活動を行うなかで環境保全が
重要な経営課題の一つであることを
認識し、樹脂成形金型の一貫作業に
おいて客先からの要求をチャンスと
とらえ技術の向上と資源の有効活用
を図り環境問題への積極的な取組に
努めます

行動方針（5項目の活動）

当グループに適用される環境関連法規・当グループ
が同意するその他の要求事項を遵守します
事業活動を通じて、以下の取組に対して環境目標
および活動計画を定め継続的な改善に努めます。
2050年目標のCN活動にも積極的に取り組みます。

- 📍 CO₂の排出量削減 省エネルギーへの取組
- 📍 廃棄物排出量削減 リサイクルの推進
- 📍 水使用量の削減 節水に努める
- 📍 製品の品質向上及びサービス改善 提案活動
- 📍 地域社会との調和を図る 社外清掃

下記の経営課題への改善にも力を注ぎます!!（P10参照）

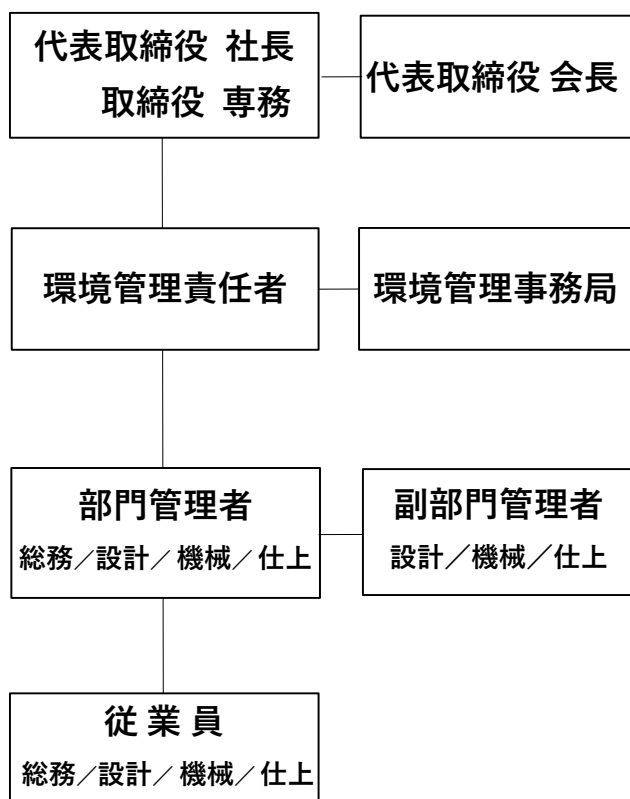


	社内で考えられるもの	社外で考えられるもの
事業における 課題 ◆事業上の弱み,問題点	◆ 加工不良（作業ミス） がまだ発生する ◆ 人材（若手社員）不足	◆ モデルチェンジの延期や中止 により仕事量が減少している
事業における チャンス ◆事業上の強み,有利な点	◆ 大型金型、精密金型を 設計・製造する技術力と 納期対応力がある	◆ 顧客との密接な繋がり

実施体制図と担当役割

竹田サンテックグループ

対象範囲：全組織・全活動



代表取締役・取締役

- 総括（環境経営システム・緊急事態発生時等）
- 課題とチャンスの明確化 ■ 経営資源の準備
- 環境経営方針の策定 ■ 全体の評価と見直し・指示



環境管理責任者・環境管理事務局

- 環境経営システムの構築・運用・維持、社長への報告
- 環境関連法規等の遵守評価及び取りまとめと見直し
- 環境目標・活動計画の策定・見直し
- 環境経営マニュアル及びレポートの作成



部門管理者・副部門管理者

- 代表取締役・環境責任者の指示、命令を伝達
- 自部門の環境経営システムの運用・維持
- 教育訓練・緊急事態への準備及び対応・是正処置など



従業員

- 環境経営方針、環境活動計画等の取組への遂行
- 環境関連法規等の遵守および社会貢献など

生産活動での投入量と排出量

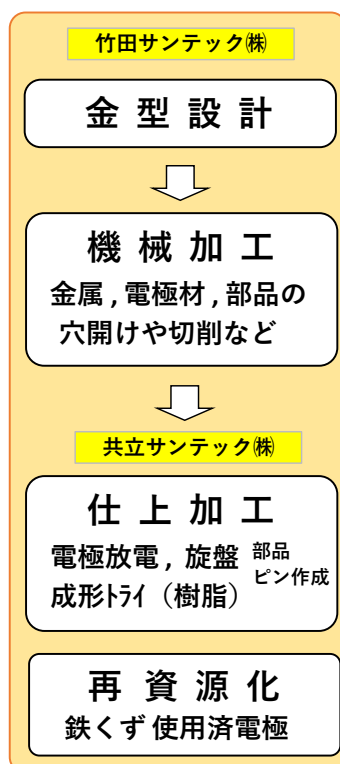
投入量



製造



排出量



環境経営目標

【 2025～2027年】

排出量 使用量 削減項目		単位	実績	25～27年度 中期目標						
			23年度	23年度比 削減率	25年度	23年度比 削減率	26年度	23年度比 削減率	27年度	削減目標
CO ₂	t-CO ₂	竹田	112 ^{☆1}	51.8 %	54	51.8 %	54	51.8 %	54	13年度比: 50%削減 481t-CO ₂ 以下
		共立	402	1.5 %	396	▲ 1.2 %	407	▲ 0.7 %	405	-0.5%減/年
		合計	514	12.5 %	450	10.3 %	461	10.7 %	459	
電力 ◆0.421 中部電力 23年度 調整後 排出係数	千Kwh	竹田	1,621	6.9 %	1,509	14.1 %	1,393	20.1 %	1,295	2030年度迄に ^{☆2} -38%減
		共立	938	1.0 %	929	▲ 1.7 %	954 ^{☆3}	▲ 1.2 %	949	-0.5%減/年
		合計	2,559	4.7 %	2,438	8.3 %	2,347	12.3 %	2,244	
ガソリン ◆2.322	ℓ	竹田	5,113	0.2 %	5,103	0.3 %	5,098	0.4 %	5,093	2030年度迄に ^{☆2} -0.7%減
		共立	1,623	50.0 %	811 ^{☆4}	50.1 %	810	50.2 %	809	-0.1%減/年
		合計	6,736	12.2 %	5,914	12.3 %	5,908	12.4 %	5,902	
軽油 ◆2.585	ℓ	竹田	16,322	0.2 %	16,290	0.3 %	16,274	0.4 %	16,258	2030年度迄に ^{☆2} -0.7%減
		共立	1,020	0.2 %	1,018	0.3 %	1,017	0.4 %	1,016	-0.1%減/年
		合計	17,342	0.2 %	17,308	0.3 %	17,291	0.4 %	17,274	
廃棄物 一般	kg	竹田	1,789	6.0 %	1,682	7.0 %	1,664	8.0 %	1,646	-1%減/年
		共立	909	1.0 %	900	1.5 %	895	2.0 %	891	-0.5%減/年
		合計	2,698	4.3 %	2,582	5.2 %	2,559	6.0 %	2,537	
廃棄物 産廃	kg	竹田	1,345	6.0 %	1,264	7.0 %	1,251	8.0 %	1,237	-1%減/年
		共立	1,357	1.0 %	1,343	1.5 %	1,336	2.0 %	1,330	-0.5%減/年
		合計	2,702	3.5 %	2,607	4.3 %	2,587	5.0 %	2,567	
水	m ³	竹田	443	0.2 %	442	0.2 %	442	0.2 %	442	削減検討済 現状維持
		共立	440		439		439		439	竹田と使用量按分 現状維持
		合計	883		881		881		881	
再資源化 リサイクル率			一般 45.0 産廃 99.6	↑ 2.0 %	一般 45.9 産廃 99.7	↑ 3.0 %	一般 46.3 産廃 99.7	↑ 4.0 %	一般 46.8 産廃 99.7	一般 1%増/年 産廃 最大限度値
品質改善 提案提出件数			79		78		78		78	年間目標 78件
地域貢献 会社周辺清掃実施率			100		100		100		100	雨天以外 実 施
課題改善 不具合発生率の削減			100 ^{☆5}	40 %	60	45 %	55	50 %	50	5%減/年

化学物質（PRTR法対象物質）は使用していないため、項目に入れていません。

- ☆1 竹田は CN活動【'13年→'30年迄にCO₂排出量50%削減】によりフリー電力の契約に切替（'23年4月は通常電力）
- ☆2 CN目標達成後も削減計画を2030年度までたてています。
- ☆3 射出成形機2台を増設しました。（'26.2月より）
- ☆4 社有車1台が減少したため目標値の見直しを行いました。
- ☆5 ベース期の不良件数を100と指数表示しました。

今期活動実績 目標比と実績評価

【2025年】

排出量 使用量 削減項目		単位	実績		今期 活動実績と目標比				
			23年度	23年度比 削減率	25年目標	25年実績	目標比	目標 達成	実績評価
CO ₂	t-CO ₂ 竹田	112	51.8 %	54	47	-12.4 %	○	大型の加工機,空調設備の影響により、CO ₂ 排出の大半は電力(竹田93%と共立99%)が占めます。フリー電力の活用や電力の削減が直結し目標達成に繋がりました。	
	共立	402	1.5 %	396	277	-30.1 %	○		
	合計	514	12.5 %	450	324	-27.9 %	○		
電力 ◆0.421 中部電力 23年度 調整後 排出係数	千Kwh 竹田	1,621	6.9 %	1,509	1,099	-27.1 %	○	生産高の減少により、竹田・共立ともに機械稼働時間が23年度と比較し竹田-45%・共立-25%低下した事が大きな要因です。	
	共立	938	1.0 %	929	651	-30.0 %	○		
	合計	2,559	4.7 %	2,438	1,750	-28.2 %	○		
ガソリン ◆2.322	ℓ 竹田	5,113	0.2 %	5,103	4,963	-2.7 %	○	成形立合いや得意先訪問回数に応じて使用量が増減します。訪問日時と訪問先を事前に掲示し、他部署との訪問先が重ならないよう重複防止を図りました。	
	共立	1,623	50.0 %	811	702	-13.4 %	○		
	合計	6,736	12.2 %	5,914	5,665	-4.2 %	○		
軽油 ◆2.585	ℓ 竹田	16,322	0.2 %	16,290	13,821	-15.2 %	○	納品・引取回数や搬入先により使用量が増減します。1回のルートで輸送効率を高めるためトレーラーを多様化し輸送の効率化を図りました。	
	共立	1,020	0.2 %	1,018	449	-55.9 %	○		
	合計	17,342	0.2 %	17,308	14,270	-17.6 %	○		
廃棄物 一般	kg 竹田	1,789	6.0 %	1,682	1,214	-27.8 %	○	現場の安全確保を目的に、大規模な2Sを実施しました。その影響で廃棄量は一時的に増加した月もありましたが、分別徹底によりグループ全体で目標を達成しました。	
	共立	909	1.0 %	900	785	-12.8 %	○		
	合計	2,698	4.3 %	2,582	1,999	-22.6 %	○		
廃棄物 産廃	kg 竹田	1,345	6.0 %	1,264	828	-34.5 %	○	また、集積場所も積荷の高さを超える前に担当者が確認しているため、常に整理された状態を維持しています。	
	共立	1,357	1.0 %	1,343	828	-38.3 %	○		
	合計	2,702	3.5 %	2,607	1,656	-36.5 %	○		
水	m ³ 竹田	443	0.2 %	442	304	-31.2 %	○	3ヵ月間休業補償により水の使用量は一時的に減少しました。前期発生していた水漏れ・トイレのつまりは今期発生していません。	
	共立	440		439	300	-31.7 %	○		
	合計	883		881	604	-31.4 %	○		
再資源化 リサイクル率	%	一般 45.0 産廃 99.6	↑ 2 % 0.01 %	一般 45.9 産廃 99.7	一般 29.8 産廃 99.5	↓ 16 % ↓0.02 %	× ○	鉄くずの自動回収率がRcへの貢献として最も大きいですが 社内での分別も定着傾向にあります。	
品質改善 提案提出件数	件	79		78	83		○	改善点の洗い出しが難しく、提案のネタ不足の可能性もありますが目標は達成する事ができました。	
地域貢献 会社周辺清掃実施率	%	100		100	100		○	当番表の清掃実施日の記載漏れがなく、活動の定着がみられます。今後も100%維持を目指します。	
課題改善 不具合発生率の削減	%	100	40 %	60	38	-62 %	○	生産高の減少という要因もありますが、不良対策のルールは継続して遵守されていました。	

環境経営計画の取組と評価、次年度の取組【2025年度】

排出量 使用量 削減項目	主な取組	【評価】○よくできた ×できなかった 評価コメント
CO ₂	竹田 共立 CN活動（省エネ設備への切替,省エネ活動） 省エネ活動	○ 設備投資を進めることはできなかったが、専務を中心にVA提案をグループで推進し、材料削減や工程改善に取り組んでいます。
電力	不要照明の消灯（昼休憩時と離席時） 冷暖房管理の徹底と室内環境の改善 機械・エアコンのフィルター清掃/交換 エアー漏れチェック 省エネ空調への切替（故障時対応） ◆ 定例会議での活動報告と活動内容の確認 3ヵ月ごと開催 部門長・副部門長が出席	○ 消し忘れは見られず、活動の取組が定着しています。 ○ CO ₂ 濃度600～800ppmを維持するため換気を調整し、サーキュレーターや扇風機を併用しながら冷暖房の効率化な運用をしています。 × 機械フィルターの未交換が共立で1件発生。（原因：確認不足） × エアコンからのエアー漏れが竹田で1件発生。（原因：ホースの劣化） ○ 竹田 0 機 共立 1 機を切り替えました。 事務所では室温・CO ₂ 濃度を計測し、適切な室内環境の維持に取り組んでいます。現場では稼働状況に応じて生産設備の周辺機器の使用を抑制しています。また、点検漏れを確認した場合、速やかに是正処置を行い、ルールを定め再発防止に努めていました。
ガソリン 軽油	走行距離，給油量，型重量の記録 エコ運転を心がける（平均燃費の向上）	○ 運転者は都度使用時に記入し、事務局が毎月確認しています。 ○ エコ運転の周知と運転判断をする機器を搭載しています。
廃棄物 一般 産廃	分別を徹底し、有価物化を進める 廃棄物パトロール（月2回 安全委員8名参加） 委託先への実地確認と問い合わせ ◆ 定例会議での活動報告と活動内容の確認 一般のみ 一般のみ 裏紙使用の推進（社内利用のもの）と枚数管理 総務FAX受信のPC管理と不要データ数管理	○ 部署ごと担当者を配置し、分別状況や内容物の確認をしています。 ○ 指摘事項 3/24回：廃棄時に品名未記入/空き缶忘れ（雨水混入）コンテナ投入が手前に偏在している ○ 12/4 実施（収集/処分許可証の確認及び更新手続き確認済） ○ スペース確保と作業効率を上げるため、全体で2Sを実施しました。不用品をできるだけ細分化し有価に回す取組ができました。 ○ 裏紙利用4,449枚分が資源有効活用となりました。 ○ 不要データ削除により用紙783枚分を削減できました。
水	節水への心がけ（生活用水として利用）	○ 節水への意識が定着しています。
再資源化 リサイクル	一般のみ 産廃 紙以外にカタログ・雑誌，ダンボール箱の分別 アルミ，鉄，ステンレスの混合物を細分化	○ 部署ごと一時集積場所を設けているため収集率が高いです。 ○ 手作業でできる限り細かな分別をし有価に回しています。
品質改善 提案件数	◆ 定例会議での活動報告と活動内容の確認 採用された提案の進捗状況の確認と広報	○ 部門長・副部門長による継続的な声掛けが成果に繋がりました。 ○ 採用された提案について実施確認（証拠写真）を行い、記録内容を関係者と従業員に展開をしました。
地域貢献 社外清掃	毎週火曜日（会社周辺エリア）の清掃 毎週金曜日 社内清掃（火曜雨天場合 振替）	○ 当番表へ実施日を記入し、毎週月曜の朝礼で 部門長が次の当番に周知。事務局は月初めに確認と集計を行いました。
課題改善 不具合発生	不具合対策の進捗状況の確認（毎月5日提出） ◆◆ 部門長会議での活動報告と活動内容の確認 毎月開催 部門長が出席	○ 各部署の対応内容をまとめ、環境管理責任者が評価を行いました。その後、部門長会議で内容の検証を行いました。 ○ 不具合発生後、上司が報告書を発行し、原因及び対策を担当者と検討。専務,社長,会長の承認後、全体回覧で周知をしました。

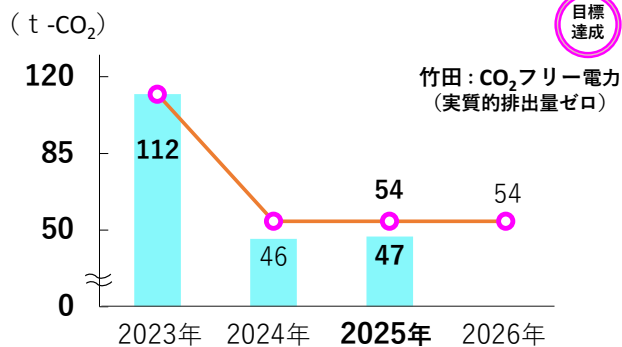
【次年度の取り組み】上記活動の継続とデータ管理をクラウド化する新しい取組をスタート（テスト段階）

させ出力用紙の削減が見込めそうです。年間の紙の購入量を調査しその効果に期待したいと思います。

実績グラフ① CO₂排出量削減／電力・ガソリン・軽油

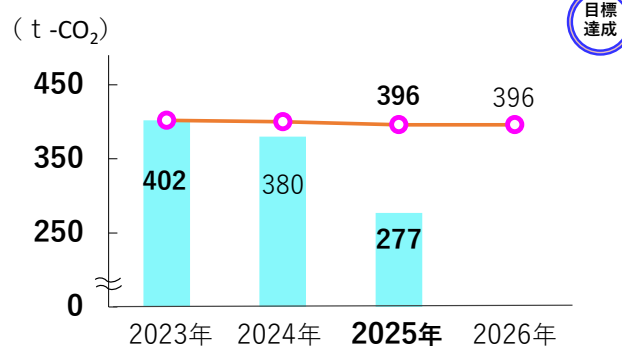
CO₂排出量削減

竹田グラフ

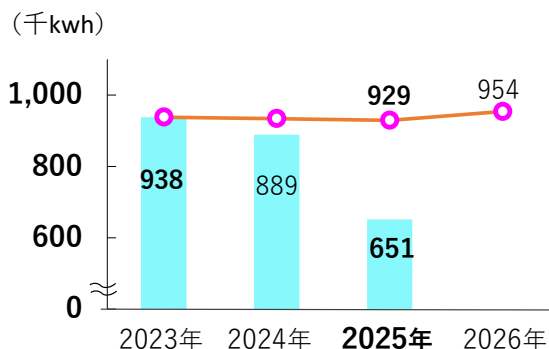
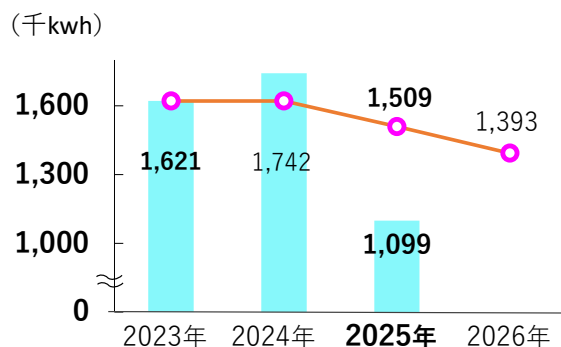


共立グラフ

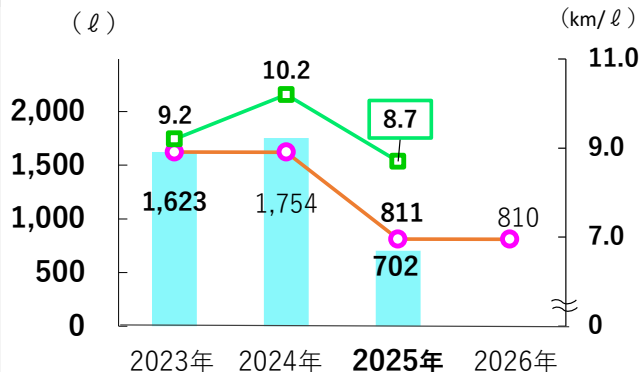
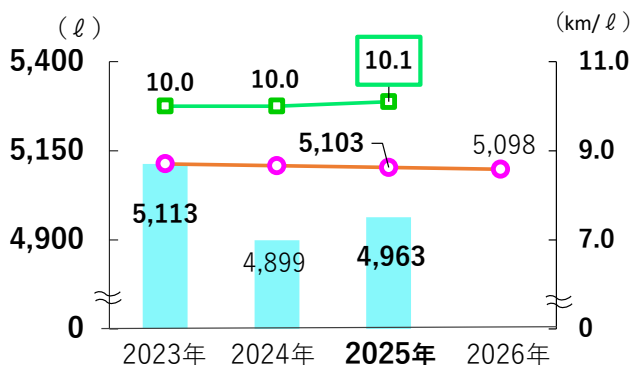
全グラフ 〇目標値
■実績値
□平均燃費



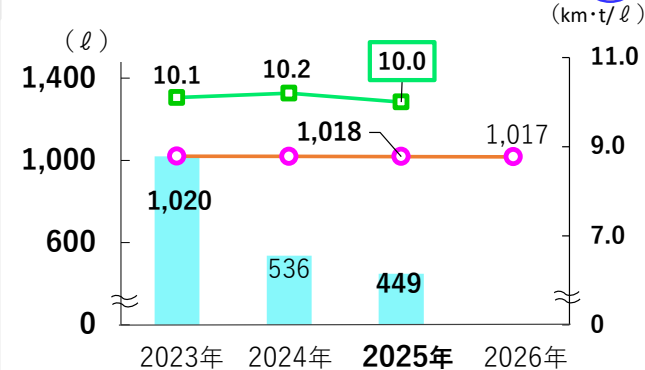
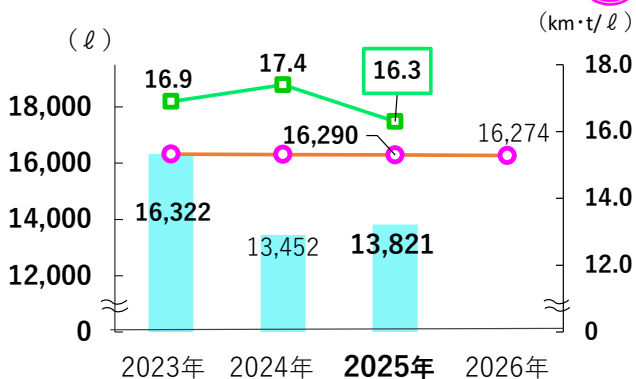
電気使用量削減



ガソリン使用量削減と燃費向上



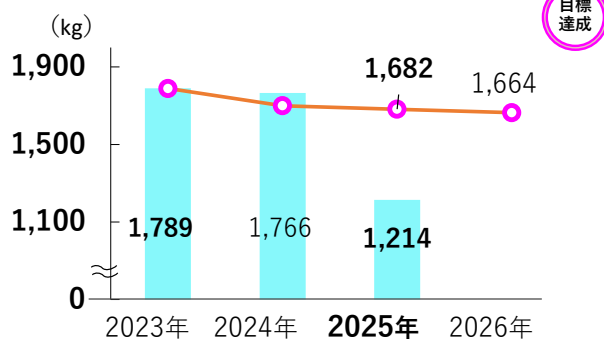
軽油使用量削減と燃費向上



実績グラフ② 廃棄物排出量削減・総排水量削減・グループ活動

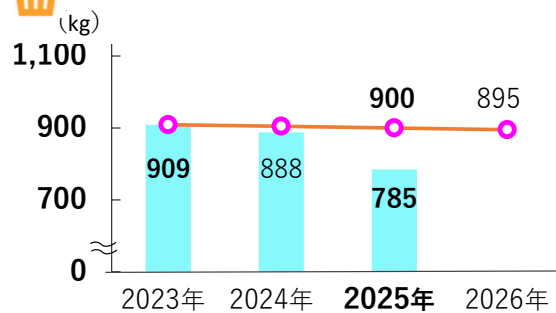
一般廃棄物排出量削減 (可燃物のみ)

竹田グラフ

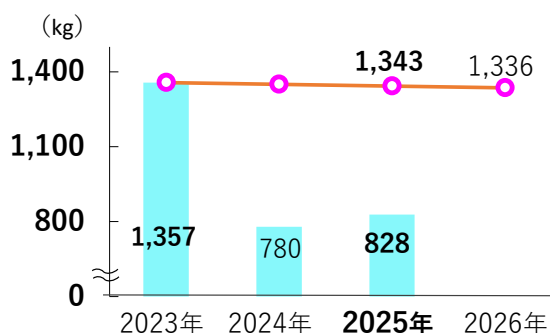
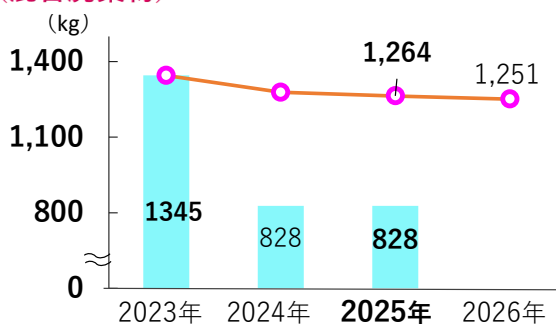


共立グラフ

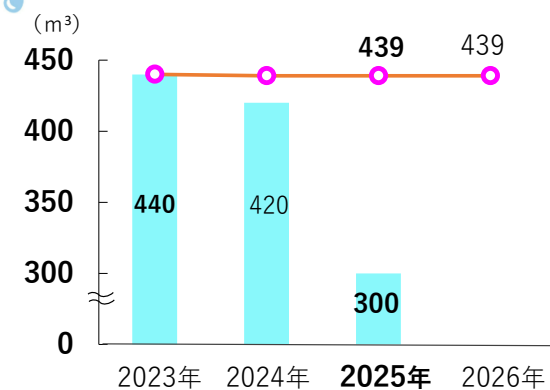
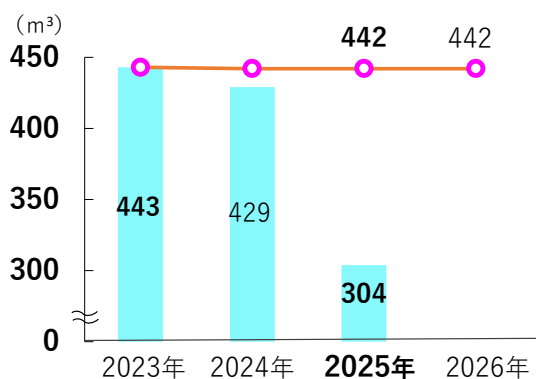
全グラフ ● 目標値 ■ 実績値



産業廃棄物排出量削減 (混合廃棄物)

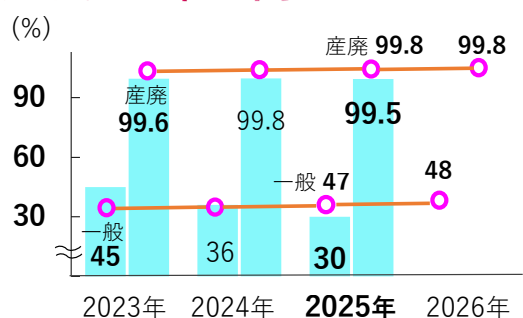


総排水量削減

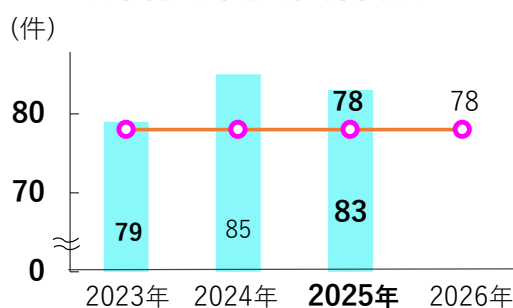


グループ活動

廃棄物再資源化 リサイクル率の向上



品質改善及び効率化 改善提案提出件数



課題の改善 加工不良の削減 = 不具合発生率の削減

ベース期の不良発生件数を100として
不具合発生率の削減を目指します。

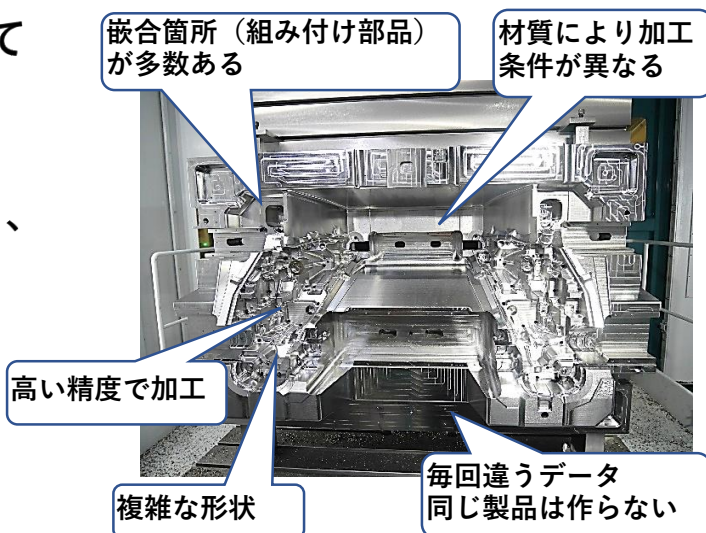
ベース期の不良要因を分析し対策を図り、
月1回の部門長会議で対応内容を相互に
確認することで再発防止につなげます。

設計： 新型、設変・改造型、管理移行型で発生した問題点や重点項目を部署内で共有し、確認項目および確認方法のルール化を進めました。今後の改善に反映させてます。製品部の左右対称非対称も細部まで確認し不具合の防止に努めます。

機械： 加工前の打合せ、図面の確認や加工後の測定によるチェックを怠らない様に注意喚起を週1回実施しています。閑散期間中では多能工化を進め、各係ごと保管している刃物の在庫状況の見える化を図りました。加工後の刃物破損チェックが未定着なので次年度は定着化を図ります。

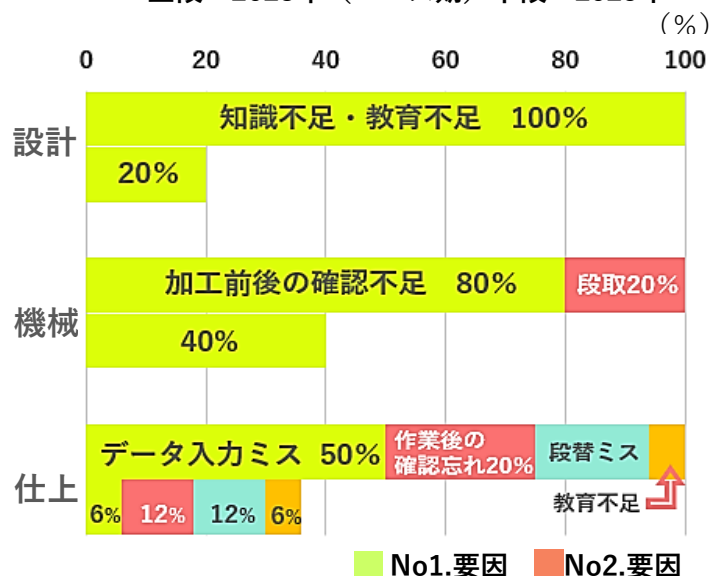
仕上： 放電作業のミスを起こさない、させないようにルールの徹底を部長が朝礼時に指示しました。その他、部品の管理や作業性を考えたレイアウト変更、現場でのPCの活用化を進めトラブル回避に力を入れました。

総評： 部署内での不具合対策を毎月の部門長会議にて検証を行い、閑散期間中も教育や作業効率を上げる取組を進め再発防止に努めました。次年度の4月から繁忙期に入るので活かしていきます。



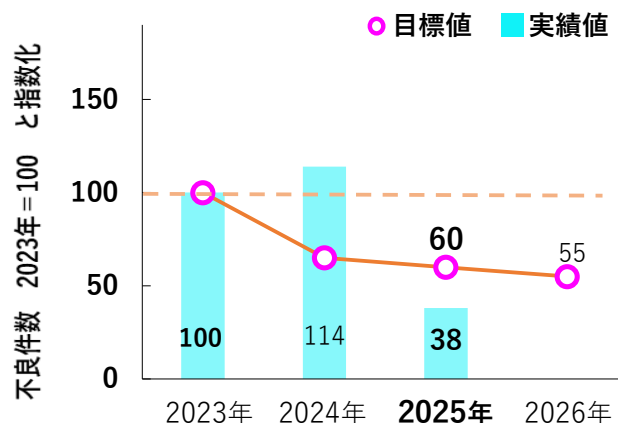
各部署の不良要因の構成比

上段：2023年（ベース期） 下段：2025年



グループ活動

不具合発生率の削減



環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無

法規見直日 2026/03/11

法規名	遵守事項・規制基準		確認頻度	評価
廃棄物処理法	適正処理	産廃委託（契約書,許可証確認） 実地確認	年1回 '25/12現地確認済	○
	マニフェストの管理	マニフェストの交付状況の報告 伝票5年保管	年1回 '25/6交付済	○
騒音/振動規制法	特定施設の届け出	新設、変更、廃止時 届出	都度対応	○
	規制基準値の遵守	騒音測定（第4種区域 工業地域）	年1回 '25/11実施済	○
化管法	PRTR制度	第 1 種指定化学物質 515種類	使わない	○
	SDS制度	第1&第2種指定物質 649種類	SDS取寄せ(新規・更新) 危険・有害性の周知	○
フロン排出抑制法 第一種特定製品	簡易点検	自主点検・記録（3ヵ月ごと）	年4回 実施済	○
	定期点検・漏えい防止	圧縮出力7.5以上（対象機器1台） 業者委託	3年ごと 今期なし	
	廃棄等実施者の 引渡義務	内部のフロンガス類の回収	都度対応	
消防法	危険物 指定数量の管理	数量、指定数量の倍数変更 届出	都度対応	○

遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

遵守状況確認 2026/03/27

評価者 佐々木基宣

代表者による全体の評価と見直し指示

全体の評価コメント

竹田、共立ともに全ての環境経営目標を達成することができた。

しかし、当年度は金型製作を始めてから最も受注型数が減少したという要因が大きく、当グループの主要題である電力使用量の削減についても、各種加工機の稼働時間が減少したという影響が大きい。

今期の取組状況の確認

環境経営方針、環境目標、環境活動計画及び環境経営システム等における取組状況を確認し見直しの必要性はありません。

見直し指示内容

各種取組みを継続、発展させ、業務量の増加時でも達成出来るよう更なる努力を重ね、目標を達成出来るよう活動をすること。また、経営に直結する不具合発生率の削減については特に力を入れること。

見直日 2026/03/31

代表取締役社長 竹田 哲也